

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 釜石市魚市場生産・機能体制強化事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-27-8427
施策②	釜石市魚市場を中心とした生産・流通体制の強化	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和5年度～令和9年度		
事業の概要			
水産物流通において、中枢的な機能を持つ魚市場であるが、秋サケ、サンマなど主要魚種の水揚げ不振により厳しい状況が続いている。本事業は、漁船漁業者等への氷代補助や廻来船誘致活動を行い、水揚げ増加につなげ、魚市場の体制強化、ひいては漁業所得の向上を目指すもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
主要魚種の不漁等により、水揚げ量が減少している。それに伴い、魚市場の運営体制が脆弱化し、漁業者へのサービスが低下しており、他魚市場へ水揚げする漁業者の燃油代など固定経費増加で漁業所得が増加しない。
目的
漁業者への氷代補助や廻来船誘致等の水揚げ増強対策を行うことで魚市場のサービス向上を図り、漁業所得を増加させたい。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
①水揚げを行う漁業者が魚市場から購入した氷代金に対する補助 ②魚市場の水揚増強対策事業への補助 ③水揚げ漁業者への御礼 ④COC認証取得補助
事業費
R 7
9780 千円
R 8
9480 千円
R 9
9480 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	見直し余地あり
評価結果			
近年、主要魚種である秋サケやサンマなどの水揚げ不振により、厳しい状況が続いている。魚市場生産・機能強化を図られたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 さかなのまち活性化事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-27-8427
施策②	漁協の生産体制の強化と漁業者の所得向上	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和3年度～令和9年度		
事業の概要			
日本固有の在来種であり、高級魚でもあるサクラマスをはじめとした海面養殖事業を産学官連携により、安定的収入の確保が望める養殖事業として確立、維持するとともに、養殖生産に新規参入しやすい環境作りやサクラマス養殖生産量が国内最大規模である強みを生かし、市内外の認知度向上、流通・消費拡大するための活動や組織づくり、プロモーションを強化し、さかなのまち活性化を推進する。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
地域水産業の主力漁獲物の不漁、水産業の担い手減少、水産加工業における原料の確保が厳しくなっている中で、令和4年10月にサクラマスの海面養殖が事業化されたことにより生産量が増加してきているが、消費・流通拡大するためのブランド化に向けた取組が求められている。
目的
効率的な生産が可能な養殖種苗を開発することで養殖生産の拡大を図ることに加えて、釜石はまゆりサクラマスのブランド化を推進することで水産業の担い手確保及び漁業所得の向上を目指す。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
①サクラマスPR活動：フェア開催、地元事業者による組織づくりやその活動支援
②販促物作成：ポスター、幟等の販促物の作成
③大学と連携した共同研究等：種苗開発及び効果的なプロモーション手法の開発、フォーラム開催
④広報PR：市広報や各種SNS等で情報発信
事業費
R 7
9752千円
R 8
9752千円
R 9
9752千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
水産業活性化を図る重要な事業であり、安定的収入の確保が望める養殖事業となるよう関係機関との連携を図りながら、事業を推進されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 畜養ウニ産業化構築支援事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-27-8427
施策②	漁協の生産体制の強化と漁業者の所得向上	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	新規
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和7年度～令和9年度		
事業の概要			
市内漁業協同組合が取り組むウニ畜養事業の一部経費の補助を行い、持続的な体制構築までの支援をするほか、生産された畜養ウニの流通・販売拡大のため消費者のニーズ調査等の実施を検討していくことで当市における持続可能なウニの畜養事業のビジネスモデルを確立し、新たな収益事業による漁業協同組合の生産体制の強化ひいては漁業者の所得向上を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
令和4年度から実証試験を行っているウニ畜養事業について、これまで一定の成果があげられたものの、販路先の確保や職員の負担が大きいことから持続的な事業実施が困難な状態となっている。
目的
持続可能なウニ畜養事業モデルを確立することで市内漁業協同組合の生産体制の強化ひいては、漁業者の所得向上を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
・ウニ畜養事業に対する補助 ・畜養ウニの販売拡大調査委託（令和8年度～）
事業費
R 7
1000 千円
R 8
0 千円
R 9
0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
持続可能なビジネスモデルになるよう、関係各所と連携して業務を実施されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 水産物供給基盤機能保全事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-22-2111
施策②	漁協の生産体制の強化と漁業者の所得向上	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和5年度～令和7年度		
事業の概要			
室浜漁港（片岸地区）の防波堤の杭基礎が近年の自然条件の変化に伴う高波・波浪等の影響により損傷していることが判明したことから漁港の安全確保のため、機能保全を図るもの。 防波堤 L=18.5m機能保全			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
室浜漁港（片岸地区）は東日本大震災により漁港施設は甚大な被害を受けたが平成26年度に漁港の災害復旧が完了し漁業活動も再開されているところであるが、近年の自然条件の変化に伴う高波・波浪等の影響により損傷していることが判明したことから漁港の安全確保のため、機能保全を図るものである。
目的
室浜漁港（片岸地区）において近年の超大型台風や急速に発達した低気圧による異常な高波を考慮した設計波高の見直し（平成30年4月）や実績を踏まえた設計基準に基づき、漁港施設の機能保全を行い、頻発している越波を防ぎ、かつ効率的な漁業活動の基盤を確保する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
室浜漁港（片岸地区）の一部である延長18.5mの防波堤の機能保全を行う。 鋼管杭基礎の機能保全および改修を行い、漁港内の静隱度確保を図る。
事業費
R7
151200千円
R8
0千円
R9
0千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
高波・波浪等の影響により損傷した室浜漁港（片岸地区）の機能保全を図るものであり、国、県と調整を図りながら適切に業務を実施されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 県営漁港整備負担金		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-22-2111
施策②	漁協の生産体制の強化と漁業者の所得向上	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	平成23年度～令和9年度		
事業の概要			
市内全14漁港の内、6港ある県管理漁港の施設の老朽化対策、防波堤整備、耐震・耐津波対策、防波堤・岸壁の改良、漁港機能の増進を図るため、県営漁港整備事業に対し事業費の10%を定額負担し漁港施設の基盤整備・維持を行うもの。これにより、市内漁港の基幹的な漁港である県管理漁港の安全かつ効率的な漁業活動の基盤を確保するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
東日本大震災津波により岩手県管理漁港施設も甚大な被害を受けたが、漁港の災害復旧工事も進捗し、漁業活動も再開されているところである。
市内全14漁港の内、県管理漁港は6漁港あるが、漁港施設の老朽化対策、防波堤整備、耐震・耐津波対策、防波堤・岸壁の改良、漁港機能の増進を図る必要がある。
目的

3. 主な活動及び事業費

主な活動
県管理漁港の各漁港で機能保全事業・機能強化事業・生産基盤事業・漁村再生事業・浜の活力事業を実施する。
事業費
R7
23650千円
R8
68200千円
R9
68200千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
漁協の生産体制の強化に向け、県と連携し漁協施設の機能強化を行うこと。また、定期的な点検を実施する等、施設の長寿命化を図られたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 水産加工業人材確保支援事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-22-2111
施策②	魚が感じられるまちづくりの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和6年度～令和9年度		
事業の概要			
当市の基幹産業である水産加工業のデジタルトランスフォーメーションの推進による付加価値と給与水準の向上させ、人材確保を目指す取り組みに対して支援し、雇用の維持・拡大を図ろうとするもの。岩手県とともに市内事業者へ当該補助金の周知や要望調査を行い、DX推進による人材確保を支援する。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
当市の基幹産業である水産加工業では人材不足に伴い、外国人技能実習生等を受け入れ、人材確保している状況だが、従業員の住居の確保が困難、家賃が高いなどの課題がある。
目的
デジタル技術を活用した生産活動の推進や働きやすい職場環境作りを行い、安定的な雇用に結びつける。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
釜石市水産加工業人材確保支援事業費補助金により設備等導入経費の事業者負担を軽減。
事業費
R 7
0 千円
R 8
0 千円
R 9
12000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	見直し余地あり
評価結果			
当市の基幹産業である、水産加工業のデジタルトランスフォーメーションの推進による付加価値の向上、女性従業員が働きやすい職場環境を支援することは大変重要であるため、引き続き市内事業者の雇用維持、安定を図られたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 釜石市農畜産業振興総合支援事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	釜石型農業の確立と担い手の確保	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和3年度～令和8年度		
事業の概要			
当市農畜産業は、農畜産業者の高齢化等による担い手不足に伴う遊休農地の増加や公共牧場の遊休化面積の拡大等が課題となっている。新規就農者や意欲ある担い手農家と畜産業の生産の拡大・安定化を総合的に支援することで、新規就農を促進し、労働力確保や販路・経営規模の拡大を推進し、農畜産業振興を図る。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
当市の総農家数は10年前に比較して4割減少し、農業従事者の減少・高齢化が進行する中で遊休農地等も増加している状況にある。このことから、新規就農者の確保等による労働力の確保および意欲ある担い手農家の規模拡大への生産基盤の整備が課題である。
また、畜産業においては、ピーク時に1,000頭規模で営農されていた当時から、現在は畜産農家が12戸、肥育頭数は約60頭と減少が続いている。
目的
農業振興の活性化、農業従事者の維持を図りつつ、新規就農者の確保を図るとともに、農業経営の規模拡大による所得向上を図る。
肥育頭数を増やすことによる公共牧場の活用を図り、畜産業拡大の契機とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
昨年まで釜石市農業振興総合支援事業補助金制度を運用してきたが、これに畜産業支援も加え、釜石市農畜産業振興総合支援事業補助金とし、農業、畜産業療法の生産振興と担い手育成等を総合的に支援することで新規就農者や意欲ある担い手農家の負担を軽減する。また、市内産農産物を活用する市内事業者への支援を行うことで、市内産農産物の販路確保と活用促進が図られる。
事業費
R 7
2500千円
R 8
2500千円
R 9
0千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
釜石型農業を推進する上で重要な事業であり、引き続き農業者の声を反映し適切な補助を行うことは必要である。各補助メニューについては、ニーズと効果を見極め必要に応じて内容の見直し圧縮を行うなど、補助メニューの見直しを検討されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 釜石型農業活性化事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	釜石型農業の確立と担い手の確保	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和6年度～令和8年度		
事業の概要			
当市農業の課題解決のため、これまで釜石型農業推進事業として甲子柿やクッキングトマトすずこま等の付加価値の高い農産物の導入、軽トラ市の開催や学校給食による地産地消の推進が図られてきた。今後、釜石型農業活性化事業として、市内外へのPRや安定的な販路確立を目的とした事業を行うことで、農業産出額の向上と担い手の確保・育成を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
当市農業は中山間地域という土地の制約により、大規模経営による農業所得の確保は困難である。このことから、小規模でも所得確保が可能な釜石型農業推進事業を実施してきた。当該事業の成果により、付加価値の向上や新たな販路の確保が図られており、生産量の拡大や新規参入者の増加が見られる状況である。今後、市内外の企業等との連携による安定的な販路の確保、出荷・販売体制の構築が望まれる状況である。
目的
釜石型農業の活性化。農業者の所得向上、付加価値の向上、釜石産農産物のブランド化

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
農福連携やスマート農業のモデル事業、加工品開発による「釜石型農業」の活性化を実施		
【甲子柿振興事業】販売会等による全国的な認知度向上と販路の確保、生産拡大に関する傷害果の活用		
【すずこま導入事業】釜石産の愛称決定による付加価値の向上とPR、加工品への利用促進		
【地産地消事業】軽トラ市の開催、学校給食への市内産農産物の利用促進		
事業費		
R 7	R 8	R 9
1444 千円	1444 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
見直し余地あり	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
魅力ある農林業の創出と地産地消の推進へ向けて、引き続き、地域の関係者と連携し持続可能な事業を実施されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 観光農園設置事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	27-8426
施策②	釜石型農業の確立と担い手の確保	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和3年度～令和8年度		
事業の概要			
遊休農地を活用し、市民が憩う場所、自然や農業に触れる機会を創出しながら教育面、福祉面、観光面、国際交流等にも寄与する場としてのラベンダー観光農園整備を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
高齢化や担い手不足による農地の遊休化が進み、市内の景観が悪くなるほか、荒れた農地は野生動物が里山に住み着く原因となるため、鳥獣被害にも繋がっている。拡大する遊休化の中で、有効な農地の活用に至っていない。
目的
遊休農地の解消を、市民の健康や教育、福祉面で有効に活用しつつ、交流人口を増やすため観光面にも寄与しながら行った。また、姉妹友好都市との友好関係維持や更なる交流のためにも活用した。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
遊休となって使われなくなった農地を整備し、ラベンダーガーデンを整備する。整備後は教育面、福祉面で寄与する活用を行う。
事業費
R7 11830千円
R8 6000千円
R9 0千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
見直し余地あり	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
遊休農地の解消、農福連携及び国際交流の観点から成果が見込まれるもの、農業振興に向けての視点を取り入れたうえで、事業見直しの余地があると思われる。維持管理等を鑑み、今後の事業展開について検討されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 森林経営管理事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	27-8426
施策②	森林経営管理制度による地域林業の成長産業化への取組の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和元年度～令和9年度		
事業の概要			
森林経営管理制度の推進に必要な意向調査や集積計画案の作成、その作成に必要な森林の現況調査のための航空レーダー計測等を実施し、森林管理の実施につなげるもの。その他、林業の担い手確保・人材育成事業や、市民生活に影響を及ぼしている支障木を除去する森林環境整備事業を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
森林の有する公益的機能は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や水源の涵養等、国民に広く恩恵を与えるものであり、適切な森林の整備等を進めていくことは、国土や国民の生命を守ることにつながる一方で、手入れが行き届いていない個人が所有する森林が増加し、その森林整備を担う人手不足等が大きな課題となっている。
目的
適切に管理されていない私有林の人工林について、森林経営管理制度に則した森林整備及び森林管理等を行う。また、人材育成・担い手確保、市産材利用の促進や普及啓発、公共施設における支障木の伐採等を行い、適切に森林整備の促進が行われることが目的。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
令和15年度まで、市内を13地区に分けた地区ごとに意向調査を実施予定。意向調査は、令和2年度から令和5年度まで栗林地区、鶴住居・片岸地区、箱崎地区、釜石東部・両石地区で実施済み。その他、人材育成・担い手確保、市産材利用の促進や普及啓発等を実施している。森林経営管理制度推進業務、林業の担い手確保・人材育成業務等を釜石地方森林組合への業務委託
事業費
R 7
56507千円
R 8
56507千円
R 9
56507千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
当該事業は、地域林業の成長産業化へ向けた重要な事業であるとともに、釜石市の新たな特産品の開発や林業の振興に資する取組である。引き続き関係者と連携し事業を実施されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 森林病害虫等防除緊急対策事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	森林経営管理制度による地域林業の成長産業化への取組の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	平成26年度～令和9年度		
事業の概要	森林の持つ公益的機能を維持し、森林病害虫の被害拡大防止を図るため、市内の被害最先端地で駆除事業を実施する。		

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
森林所有者個人でのナラ枯れの防除は不可能であり、ナラ枯れ被害にあった木を処分することは困難である。そのままにしておけば、枯死木となり倒木等により生活被害を起こす可能性がある。
目的
被害木を燻蒸伐倒して、被害拡大を最小限に食い止める。それにより枯死木の倒木による市民生活への被害を防止することが目的。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
県の補助事業を利用して実施。 伐倒燻蒸による駆除を釜石地方森林組合に委託。
事業費
R 7
1400千円
R 8
1400千円
R 9
1400千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
森林病害虫等による被害を早期にくい止め、被害拡大を防止し、森林資源や森林の多目的機能の維持を図れるよう、県と連携し、業務を実施されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 青ノ木地区飲雜用水施設除却事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8427
施策②	農林畜産業施設の適切な維持管理と整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和7年度～年度		
事業の概要			
平成28年度の台風災害において橋野町青ノ木地区では飲雜用水施設が被災したことから井戸水確保の代替事業による復旧を行った経過がある。しかしながら、当該の未利用の施設が撤去されることなく残されたままとなっており、施設占用の更新時期を迎えることから、必要な改修を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
昭和48年に設置した飲雜用水施設を使用してきたが、平成28年の台風被害により被災し使用できない状況となっている。撤去には多額の費用を要することから、無償で占用している国有林内の施設について森林施業に支障のないように修繕する必要がある。
目的

無償で占用している国有林内での森林施業に支障が無いよう、修繕する必要がある。

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
無償で占用している国有林内での、森林施業に支障のないように修繕する必要がある。			
事業費			
R 7			
5000 千円	R 8	R 9	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
橋野町青ノ木地区の井戸水確保のため、関係各所と連携し適切に実施されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 農業用施設改修事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-22-2111
施策②	農林畜産業施設の適切な維持管理と整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和8年度		
事業の概要			
当市の農業施設(農道・農道橋・取水堰・排水施設等)の一部は老朽化しており、安全安心な農業活動に支障が出ていいる状況のため、国が策定した「土地改良施設等のインフラ長寿命化計画」に基づき、令和2年度に策定した「釜石市農業用施設長寿命化計画」により、補修が必要な施設について計画的に補修工事を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
令和2年度に策定した「釜石市農業用施設長寿命化計画」にて調査点検した施設のうち、構造物の機能に支障が生じている施設が6箇所確認されたことから、安全かつ効果的な農業活動のため、補修工事を実施するものである。
目的
機能に支障が生じている施設である取水堰の水門6箇所を補修し、安全かつ効果的な農業活動の基盤を確保する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
・農業用施設点検業務委託 1式（令和7年度実施予定） ・日の神頭首工の水門補修 1基（令和7年度施工予定） ・大畠頭首工の水門補修 1基（令和8年度施工予定） ・洞泉頭首工の水門補修 1基（令和9年度施工予定）
事業費
R 7
19000 千円
R 8
5000 千円
R 9
0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
農林畜産業施設の安全かつ効果的な農業活動の基盤を確保するために修繕を要する。必要性、緊急性を精査し、適切に実施されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【④産業振興】 林業用施設長寿命化事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	22-2111
施策②	農林畜産業施設の適切な維持管理と整備	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	新規
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和7年度～令和7年度		
事業の概要			
安心安全な林業の施業の為に施設の健全な維持管理が必須であり、令和2年度に策定した「釜石市林業用施設長寿命化計画」の更新を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
安心安全な林業の施業の為に施設の健全な維持管理が必須であり、令和2年度に策定した「釜石市林業用施設長寿命化計画」を基に継続的な維持管理に努めている。
目的
安心安全な林業の施業の為に施設の健全な維持管理が必須であり、令和2年度に策定した「釜石市林業用施設長寿命化計画」に基づき、定期点検（1回/5年）を実施し長寿命化計画の更新を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
定期点検（1回/5年）を実施し、施設の健全度を判定し「釜石市林業用施設長寿命化計画」の更新を行うもの。
事業費
R 7
10000 千円
R 8
0 千円
R 9
0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
令和2年度に策定した「釜石市林業用施設緒寿命化」に基づき、適切に実施されたい。			